



キャンパスモール整備計画コンペ 本コース学生チーム・最優秀賞受賞

■**実施の経緯**： 2021年度、本学施設課は「**キャンパスモール整備計画コンペ**」を実施しました。文教キャンパスの中心に位置する広場を対象地とし、その課題を解決しつつ長崎大学の顔となる屋外環境整備の提案が求められました。二段階の選考を経て選ばれる最優秀作品のアイデアは、実際の整備に反映されるという画期的なコンペです。

■**取り組み内容**： 本コースからは、**環境計画研究室の大学院生(2名)と学部生(8名)の有志の混合チーム**が参加しました。まず、対象地の利用状況の観察、利用者へのアンケート調査、文教キャンパスの歴史やキャンパスマスタープランに関わる文献の調査等から、提案対象地の課題と資源を整理しました。次に、空間デザインのテーマとなるコンセプトを検討しました。そして、人の通過する領域や休憩する領域を区別し具体的な空間設計を進めました。この手の作業は線形的には進まないもので、試行錯誤しながら徐々に提案をとりまとめていきました。

■**審査結果と講評**： コンペへの応募は、在籍学生のほか、職員や卒業生を含め**計29点**にのぼりました。そのうち、**一次審査を通過した5点**には二次審査でのプレゼンテーションが求められ、**最優秀賞1点、優秀賞2点、入選2点**が決定されました。本コースから参加した学生チームは上記審査の結果、見事に最優秀賞を受賞するに至っています。公開された**審査員講評**では以下の評価を得ています。

— 今回の計画対象となっているキャンパスモールを「**並木道**」として**整備し、時間をかけ、長崎大学から周辺地域まで波及させることを提案した作品**。綿密な現状分析の下、現状の工作物や植栽等を有効に活用しつつ、**新設するウッドデッキのスペース、ステージや広場・緑地を効果的に用い、そこに居る人の行動により自然と動線を変え、「並木道」の周辺の「人の溜まり」が交流や賑わいを創出するよう配置が工夫されている**。緑あふれる「**並木道**」の整備は、**プラネタリーヘルスへの貢献を目指す長崎大学のまさに象徴となりうるスペース**であり、素晴らしい提案である。

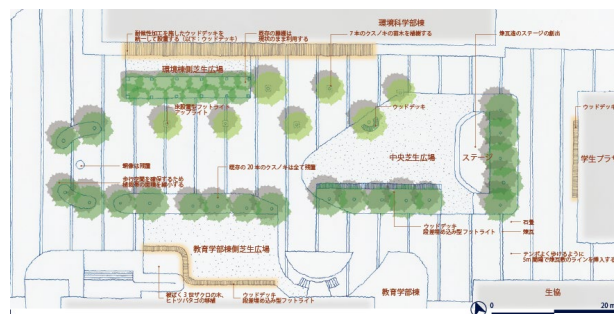
■**その後の展開**： コンペ終了後に施設課による呼びかけで、最優秀賞を受賞した学生チームの一部メンバーと施設課関係者での合同の打ち合わせが開催され、学生チームの提案した整備案を実際の整備に反映させるための課題や可能性が検討されました。現在も調整が継続され、**キャンパスモール整備の基本計画が作成されつつあります**。

■**参加学生の学び**： こうした取り組みを経て、学生たちは何を学んだのでしょうか。一つには、**創造的な作業への挑戦**が挙げられます。今回のコンペでは対象地の指定や一部の制約条件があったものの、提案そのものは完全に自由でした。つまり「**問い**」はあっても「**正解**」はないのです。このような問いに対応するためには、客観的な情報収集やそれを分析する能力、さらには説得力のある提案へとつなぐ論理的な展開力が求められます。加えて、その思考過程を第三者に伝えるための見せ方の工夫も必要です。このような過程を経験することで得られる学びはかけがえのないものとなります。本コースでも、上記の能力を身につけるためのPBL科目を配備していますが、実践の場は未だ少ないのが現状です(CEE NEWS No.18参照)。もう一つには、**短期集中して期限を守って作業する経験**が挙げられます。当然、コンペでは締め切りの期日を守らなければ審査さえしてもらえません。一方で早く提出すれば良い訳でもなく、参加者に平等に与えられた検討時間を有効に利用できるかが鍵となります。一次提出締め切りまでの約2ヶ月間、学生たちは作業計画を立てては組み直し、軌道修正しながら地道に検討を重ねました。徐々にチームとしてのまとまりも生まれ、適材適所に役割を分担することによって、個々の発揮できるパフォーマンスを可能な限り引き上げました。このように、自分達で自らを追い込む経験もまた貴重です。ぜひ今後も、同様の機会に身を置き、挑戦できる学生たちが増えていくことを期待しています。

【提案詳細・審査結果の詳細】 <http://shisetsu.jimu.nagasaki-u.ac.jp/competition/>
【本学NEWSサイト】 <https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news3538.html>



▲ 意見を図面上にまとめる様子(左写真) 模型を用いた検討の様子(右写真)



▲ 「並木道」と休憩空間の創出を表現した提案内容(一部抜粋:平面図)

世界展開力強化事業 第3モード開始!!

2021年度に世界展開力強化事業「**アジアの大学間連携による持続的**社会基盤整備を支えるグローバル人材育成事業****」が採択され、2022年度から本格的に海外留学プログラムが開始します。大学院生を対象とした、山東大学(中国)・成均館大学(韓国)との**ダブル・ディグリープログラム**、上記の大学に加え南洋理工大学(シンガポール)とラオス国立大学(ラオス)との間で、大学院・学部生を対象とした**ハイブリッド型短期留学プログラム**をそれぞれ実施します。留学生活や留学資金など全面的にサポートします。海外で学んでみたい、将来世界でエンジニアとして活躍したいと考えている皆さん、是非ともこの留学プログラムに参加してください。



好調な建設業界

充実した就職サポート

当コースにも求人多数

当コースへの求人は非常に多く、建設業界とそれに関連する企業からの求人※1だけでも学生数に対して約3倍(2021年度)ありました。当コースでは公務員への就職率が高く、また大学院への進学者も増えているため、民間企業を志望する学生に対しての1人あたりの求人数はさらに多くなります。

3倍

【当コースへの求人数※1】

建設業界と関連企業だけで、学生数に対して約3倍の求人がありました。

<参考> 2021年度の大卒全体の求人倍率:1.50倍

【好調の主な理由】

- 災害復旧・復興
- 国を挙げた国土強靱化政策(維持管理、防災・減災)
- 海外事業の増加(国際技術者の育成) など

※1 当コースに直接届いた求人のみで集計した値です。キャリアス(大学が公式に利用している就職情報サイト)に登録された当コース学生向けの求人は含まれていません。

3年生になると就職に向けた準備が始まります。就職活動に特化した講義で社会に出るための意識を高めるとともに、シビルエンジニア(土木技術者)の仕事の内容について理解を深めます。さらに、必修科目のインターンシップや現場見学で、実際に将来携わる仕事を体験、見学します。本格的な就職活動が始まると、エントリーシートの添削や面接指導など、きめ細かいサポートを受けながら活動していきます。



卒業後の進路

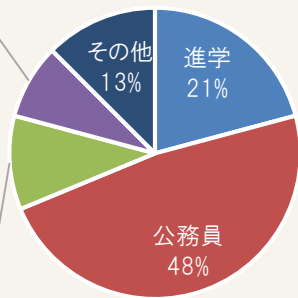
2021年度の就職率はほぼ100%! 最近の5年間をみても、ほぼ100%の就職率をキープしています(大学院卒は100%)

ほぼ100%

建設コンサルタント 8%

学部卒

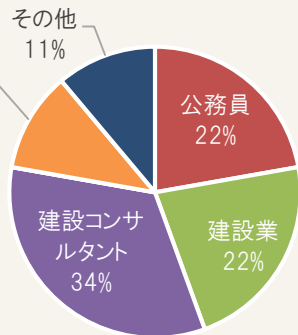
(48名)



鉄構・橋梁メーカー 11%

大学院卒

(9名)



進学	長崎大学大学院、九州大学大学院
公務員	国土交通省(九州地方整備局)、長崎県、東京都、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県、長崎市、下関市、北九州市、福岡市、久留米市、八女市、宗像市、中津市
建設業	鹿島建設、前田建設工業、不動テトラ、オリエンタル白石、松尾建設
建設コンサルタント	エイト日本技術開発、復建調査設計
その他	都市再生機構(UR都市機構)、FPR、タイミー、パパス&ママス、フリーランス、就職活動継続(他業種希望)

公務員	厚生労働省(労働基準監督官)、長崎市
建設業	清水建設、前田建設工業
建設コンサルタント	日本工営、エイト日本技術開発、オオバ
運輸・エネルギー	宮地エンジニアリング
その他	sAklku

社会環境デザイン工学コースに入るには...

チャンスは最大

4回

- 1 総合選抜型Ⅰ(A・B) ※A:普通高校対象、B:実業高校対象
センター試験を課さない! コース志望が明確な学生に有利!
- 2 学校推薦型選抜Ⅱ
理数科目が得意で、就学意欲にあふれる学生に有利!
- 3 一般入試(前期日程)
幅広い基礎学力を有する学生に有利!
- 4 一般入試(後期日程)
理数科目の実力が特に優れている学生に有利!

※入試の詳細は本学入試課にお問い合わせください。例年6月頃、入学者選抜要項(大綱)が発表されます。

発行: 長崎大学工学部工学科
社会環境デザイン工学コース

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2626

FAX: 095-819-2627

E-mail: www@cee.nagasaki-u.ac.jp

URL: https://www.cee.nagasaki-u.ac.jp/